

木頭学園便り



平成30年3月1日 NO. 18

校長室から

小 <http://e-school.e-tokushima.or.jp/naka/es/kito/html/>
中 <http://e-school.e-tokushima.or.jp/naka/jh/kito/html/>



3月に入り、本年度もあとわずかとなりました。9年生は来週、公立高校入試本番です。また、中学校卒業式は来週金曜日です。残り少ない木頭学園での生活を有終の美で締めくくって欲しいと思います。明るく学園の中心であった9年生が去って行くのは寂しいものですが、感謝の気持ちを込めてエールを送りたいと思います。卒業生の前途が幸いであることを願ってやみません。

さて、9年生は卒業式に**フランプールの「証（あかし）」**を歌います。この曲はNHK全国学校音楽コンクールの課題曲となった名曲です。「**君の指差すその未来に 希望があるはずさ、誰にも決められはしないよ。一人で抱え込んで生きる意味を問うときは そっと思い出して あの日の僕らを**」という歌詞があります。将来、人生に悩んだり、迷ったりしたときに木頭で過ごした日々が支えになればと願います。

また、3月16日（金）に行われる小学校卒業式では、6年生は**川嶋あいの「旅立ちの日に」**を合唱します。

この場を借りて、川嶋あいについて少し記したいと思います。

川嶋あいは二人組の音楽グループ「I W I S H」の一員でした。（現在は解散しソロ活動しています。）このグループはテレビ番組「あいのり」の主題曲にタイアップされた「明日への扉」が大ヒットしたので知っている人も多いことでしょう。「明日への扉」の原曲となるのが「旅立ちの日に」です。確かにメロディはよく似ています。

さて、川嶋あいは、多難な少女時代を送ったことでも知られています。1986年父親が行方不明という状態で生まれます。母親は出産後体調を崩し、乳児院にて育ちますが、その後も母親の体調が回復することはなく、一度も一緒に暮らすことなく3歳の時に母親と死別します。その後は養護施設にて育ちます。

やがて川島家に養女として迎え入れられ幸せな生活を送りますが、10歳の時に養父が、さらに16歳の時に養母が亡くなり再び大切な家族を失ってしまいます。道を外れてもおかしくないような状況の中でも川嶋あいは歌手になるという自分の目標に向かいそれを実現していきます。当初は演歌歌手を目指し、中学2年生でデビューしますが全く売れず断念します。しかし、16歳で1000回を目標に路上でのライブ活動をスタートさせ、3年後にそれを達成します。そういった地道な活動が評価され歌手として認められていきます。詳しいことはその著作「**最後の言葉**」に記されているので機会があれば、読んでください。多くの苦難にも負けず、自分を信じ夢に向かって努力していく姿は、本当に感動を覚えます。

「旅立ちの日に」は未来に飛ばたいいく卒業生にふさわしい曲です。卒業式には素晴らしい歌声を聞かせてくれることを楽しみにしています。

プログラミング体験

2月23日（金）に5、6年生が職業能力開発協会の協力によりプログラミングの授業を体験しました。ソフトバンクのロボット「NAO」を使って**プログラミングの基礎**を学びました。



パッケージスクール

木頭学園では、平成30年度より「パッケージスクール」として県教育委員会より承認して頂けるよう申請を行っています。「パッケージスクール」とは、徳島モデルの小中一貫教育です。1つの敷地内に小中学校が配置され、合わせてこども園などの他の施設と連携を行い、地域の中核としての機能を充実させていく学校のことです。「パッケージスクール」に指定されれば、予算面での優遇措置等が得られます。現在、牟岐小中学校、佐那河内小中学校が指定されています。木頭学園が指定されれば、県内で3校目となります。教育内容や行事が変わる訳ではありませんが、より小中一貫教育を推進していくことができると考えています。



総合的な学習の時間発表会

2月27日（火）に中学校「総合的な学習の時間」発表会を開催しました。木頭学園ではふるさと学習を総合的な学習の時間の中心に据えています。7年生は太布織り体験、8年生は職場体験学習、9年生は木頭の未来を考える活動を通して、新しい時代に必要とされる思考力・判断力・表現力を養っています。当日は7年生から9年生まで学年毎にこの1年間の取組を発表しました。また、今年は小学生も参加し中学生の発表を聞いて、質問をするなど小中一貫校としての異学年交流の機会ともなりました。



異学年交流

7, 8年生が那賀高校中川千秋先生の指導の下、ふるさと木頭をテーマにした書道作品作りをしました。



読み聞かせバイキング

朝の活動で読み聞かせバイキングを行いました。先生や放送図書委員さんが本を読んでもくれました。

